

令和7年度「実務経験のある教員等による授業科目」（専門科目）

授業科目	教員氏名	単位数	実務経験に関する記載
日本語学概説I	松本 昂大	2	元日本語教師、現編集者の教員が、実際に日本語学が応用されている現場について、自身の経験をふまえて講義を行う。
書道Ⅰ	横倉 佳男	2	担当教員は、1986年度からで中学・高等学校の教諭として勤務し、授業実践をしている。教育実習生の受入指導を担当した年度もある。生徒指導の実践、校務分掌の責務も果たしてきている実務経験を活かし、教職の意義や教員に求められる資質・能力についての指導を行っている。
日本文学演習ⅠA	斎藤 菜穂子	2	中学校・高等学校でも古典の授業を担当する経験を活かし、正しい読解と豊かな解釈を併せて育んでいくことを目指している。
日本文学演習ⅡA	上野 誠	2	博物館設立に関わる諸委員、遺跡復元計画に関わる諸委員、公的研究所運営の実務（万葉古代学研究所副所長）などの経験から、研究に関わる実務について語ることができます。また、萬葉学会編集長、上代文学会理事等の就任経験から、学会運営の実務についても説明することができます。
日本文学演習ⅡA	塚原 明弘	2	高等学校の教諭をしながら、平安文学の勉強を続けてきました。昼間は現代文の授業をし、夜は『源氏物語』を読む。引き裂かれたからこそたどり着いた視野があります。二足の草鞋の独自性を伝えたいと思っています。
日本文学演習ⅢA	石川 則夫	2	中学・高校非常勤講師（国語科、現代文、古文、漢文）。短期大学講師（日本文学、近代文学史）。高校国語教科書編集委員（明治書院）
伝承文学演習ⅡA	内藤 久義	2	自然科学系出版社の編集者、研究教育機関の研究員として勤務。

令和7年度「実務経験のある教員等による授業科目」（専門科目）

授業科目	教員氏名	単位数	実務経験に関する記載
伝承文学演習ⅡA	八木橋 伸浩	2	行政において民俗分野の調査や文化財保護業務などに従事してきた経験から、現在も複数の行政で文化財の指定・登録を扱う文化財保護審議会委員や市史編纂の委員としての実務を継続的に行なっている。こうした実務経験の現場で得られる民俗的な知を受講生に還元することも念頭に置きながら指導を行なっている。
伝承文学演習ⅢA	高久 舞	2	これまで自治体史の民俗芸能の項目、民俗芸能に関する自治体の報告書の調査執筆を行なってきた。また、神奈川県教育委員会において無形民俗文化財を担当し、行政サイドから民俗文化財に携わってきた。自身も芸能の演者として活動しており、研究、行政、演者それぞれの経験を踏まえ、授業を行う。
表現文化演習Ⅰ（2）	川口 晴美	2	詩人として活動し、自ら書くだけでなく詩誌その他で投稿作品の選者をつとめたり、社会人向けの詩の講座の講師を長年担当したりしている教員が、さまざまな方向性・レベルの詩を数多く読んでアドバイスしてきた経験を踏まえて学生たちの実作指導をする。
日本語教授法Ⅰ	有賀 千佳子	2	日本語学校等の現場を経て、大学の留学生日本語教育を行う。また、専門職大学院や日本語教師養成講座などで、日本語教員の養成を行う。
日本書道史Ⅰ	金子 馨	2	学芸員として実務経験あり。
古筆学	中村 健太郎	2	学芸員として実務経験あり。大学共同機関法人人間文化研究機構国文学研究資料館において機関研究員、資料評価委員、文献調査委員として調査研究に従事し、国宝や重要文化財の指定文化財を含む書跡資料の調査および展示業務に従事した。また、帝京大学総合博物館における書跡資料の展示企画にも参加する。

令和7年度「実務経験のある教員等による授業科目」（専門科目）

授業科目	教員氏名	単位数	実務経験に関する記載
出版文化論Ⅰ	林 武利	2	株式会社角川書店（現KADOKAWA）勤務14年株式会社JMA・アソシエイツ経営 代表取締役 27年
放送文化論Ⅰ	武中 千里	2	講師は公共放送でディレクター・プロデューサーとして40年以上の番組制作経験を持つ。ドキュメンタリー、経済や社会問題についての情報番組、旅・紀行番組、文化・歴史番組など、幅広いジャンルの番組を多数制作、開発してきた。 そのテレビ制作者としての苦労や、やりがいなどの実体験のエピソードを豊富に交え、メディアを使う巧者となる知識を身につけ、一方で将来映像制作を志望する学生にも役立つ講義を、わかりやすく行いたい。また長く取材をする仕事をしてきたので、受講学生の映像やテレビに対する意見も広く取り入れて講義を行いたい。
表現文化論Ⅰ	杉本 圭司	2	2013年4月、「考える人」（新潮社）に小林秀雄についての長編批評「契りのストラディヴァリウス」を発表。同年から現在に至るまで、小林秀雄をテーマとした講義・講演を各所で実施。2019年9月、「小林秀雄 最後の音楽会」を新潮社より刊行。他に「小林秀雄全集」「小林秀雄全作品」「小林秀雄作品の新潮文庫」（いずれも新潮社）の注釈、「人生の鍛錬 小林秀雄の言葉」（新潮新書）の編集協力など。
身体表現文化論Ⅰ	三遊亭 遊吉	2	落語家による授業。実際の落語を通して、江戸文化、また言葉、笑いのパターンなどを知ることが出来る。落語の原点・発生についての理解が可能となる。
文学部 日本文学科 専門科目の合計単位数 34 単位			

授業科目	教員氏名	単位数	実務経験に関する記載
中国原典演習Ⅲ	浅野 春二	2	高校国語科の非常勤講師として、授業実践を行ったことがある。中学・高校の漢文の授業に必要な知識・読解力についても留意して授業を行っている。
中国民俗文化入門	浅野 春二	2	高校国語科の非常勤講師として、授業実践を行ったことがある。中学・高校の漢文の授業に必要な知識・読解力についても留意して授業を行っている。
中国古典と民俗文化Ⅰ	浅野 春二	2	高校国語科の非常勤講師として、授業実践を行ったことがある。中学・高校の漢文の授業に必要な知識・読解力についても留意して授業を行っている。
中国民俗文化と心Ⅲ	浅野 春二	2	高校国語科の非常勤講師として、授業実践を行ったことがある。中学・高校の漢文の授業に必要な知識・読解力についても留意して授業を行っている。
文学部 中国文学科 専門科目の合計単位数 8 単位			

授業科目	代表教員	単位数	実務経験に関する記載
フランス語演習ⅠA	笠間 直穂子	2	翻訳家としての経験を活かし、生きた日本語と結びつくかたちでのフランス語習得を目指す授業を行っている。
フランス語演習ⅠB	笠間 直穂子	2	翻訳家としての経験を活かし、生きた日本語と結びつくかたちでのフランス語習得を目指す授業を行っている。
フランス語演習ⅡA	笠間 直穂子	2	翻訳家としての経験を活かし、生きた日本語と結びつくかたちでのフランス語習得を目指す授業を行っている。
フランス語演習ⅡB	笠間 直穂子	2	翻訳家としての経験を活かし、生きた日本語と結びつくかたちでのフランス語習得を目指す授業を行っている。
ドイツ語展開演習B	小笠原 藤子	2	各種資格試験に携わっている経験から、よりの確な指導をすることができる
フランス語展開演習B	笠間 直穂子	2	翻訳家としての経験を活かし、生きた日本語と結びつくかたちでのフランス語習得を目指す授業を行っている。
文化総合演習A	笠間 直穂子	2	文筆家としての経験を活かし、読みやすい日本語の文章表現習得を目指す授業を行っている。
文化総合演習B	笠間 直穂子	2	文筆家としての経験を活かし、読みやすい日本語の文章表現習得を目指す授業を行っている。
文学部 外国語文化学科 専門科目の合計単位数			16 単位

授業科目	教員氏名	単位数	実務経験に関する記載
史学基礎演習Ⅰ	榎本 博	2	地域博物館の学芸員として、地域にのこされる古文書・歴史資料の収集・保存・調査研究・展示、市民への教育普及に関わる実務を行っている。かかる経験を活かし指導する。
史学基礎演習Ⅰ	吉田 律人	2	横浜都市発展記念館主任調査研究員（学芸員兼アーキビスト）。博物館及び文書館施設に勤務するほか、自治体史の編纂事業にも従事。
史学基礎演習Ⅱ	手塚 雄太	2	博物館学芸員・自治体史編さん事業事務局職員としての実務経験を有する。また、現に博物館・自治体史などに係わる審議会委員等を務めている。
日本史概論Ⅰ	高橋 秀樹	2	授業担当者は、本学着任までの約18年間、文部科学省の教科書調査官として、日本史教科書の検定調査に従事していた。
考古学概論Ⅰ	青木 敬	2	府中市遺跡調査会・専修大学文学部・鎌倉市教育委員会・奈良文化財研究所などで数多くの発掘調査担当者を経験。
日本時代史Ⅶ	高橋 亮一	2	北海道の自治体史編さん、大学等の地域学に携わっている。
史料講読Ⅰ	内山 京子	2	伝記史料の編纂・公刊事業の実務経験を有する。
考古学各論Ⅰ	大工原 豊	2	地方公共団体での埋蔵文化財専門職員および博物館学芸員としての26年間の実務経験を活かし、具体的事例を多数紹介しながら授業を行う。また、講義のテーマだけでなく、遺跡の調査や遺物整理、調査報告書作成についての合理的方法についての講義も行う。
考古学各論Ⅱ	中村 耕作	2	國學院大學大学院修了後、國學院大學考古学研究室助手を経て國學院大學栃木短期大学准教授→国立歴史民俗博物館准教授
考古学各論Ⅲ	寺前 直人	2	埋蔵文化財を扱う専門職の経験がある。
文化景観各論Ⅱ	佐々木 健策	2	地方公務員としての経験を踏まえ、公務員としての歴史学との関わり方や地域の歴史の見方、研究法を例示します。
日本文化史Ⅰ	菅根 幸裕	2	博物館学芸員等としての実務経験を有する教員が、日本の伝統文化・民俗に関わる実務経験を活かし、文化史についての教育を行う。
考古学各論Ⅶ	水本 和美	2	國學院大學修士。都市遺跡（江戸遺跡）の発掘・整理調査・研究。陶磁器、金属等の遺物研究。博物館における資料管理・展示・教育普及。自然科学分析。博物館の開設。環境アセスメント等委員（史跡・文化財）。

授業科目	教員氏名	単位数	実務経験に関する記載
自然地理学	小松 陽介	2	防災科学技術研究所での研究員としての実務経験を有する教員が、自然環境に関わる実務経験を活かし、自然地理学についての教育を行う。
史学専門講義（考古学）	植田 真	2	縄文原体の研究を本格的に始めて15年になります。これまでに縄文原体に関する論文をいくつか発表し、新しい将来の原体研究方法について模索しています。本授業も開講してから今年で10年となりました。自分自身は測量技術を専門とする株式会社パスコで遺跡調査現場の最前線に立って発掘調査を続けながら、考古学における測量技術の発展について40年近くに亘り考えて続けて来ました。隔年ですが、史学情報処理(中級)の授業は考古学における測量技術の歴史と最前線を紹介する授業として30年が経過しました。本授業でもこれまでの業務経験も紹介しながら、学生諸君が考古学を学ぶモチベーションを上げたいと考えています。
史学専門講義（地域文化と景観）	佐々木 健策	2	地方公務員としての経験を踏まえ、公務員の立場での歴史学との関わり方や地域の歴史の見方、研究法を例示します。
地域からみた日本の歴史Ⅳ	黒川 徳男	2	栃木・茨城・群馬・埼玉・神奈川・東京などの自治体史編さんの実務経験を有する教員が、農村の地域史に関わった経験を活かし、農村・農業の近代史・地域史についての教育を行います。
文学部 史学科 専門科目の合計単位数			32 単位

授業科目	教員氏名	単位数	実務経験に関する記載
基礎演習II A	藤澤 紫	2	担当教員は美術館・博物館などの国公立の諸機関における展覧会、講演、文化財保護活動、および放送局・新聞社・出版社等の各種メディアとも連携しながら、美術に関わる社会活動にも携わっています。授業にも可能な限りその体験を盛り込み、美術業界のリアルタイムの動向についてお伝えするよう心掛けています。
基礎演習II B	藤澤 紫	2	担当教員は美術館・博物館などの国公立の諸機関における展覧会、講演、文化財保護活動、および放送局・新聞社・出版社等の各種メディアとも連携しながら、美術に関わる社会活動にも携わっています。授業にも可能な限りその体験を盛り込み、美術業界のリアルタイムの動向についてお伝えするよう心掛けています。
美学・芸術学演習	藤澤 紫	4	担当教員は美術館・博物館などの国公立の諸機関における展覧会、講演、文化財保護活動、および放送局・新聞社・出版社等の各種メディアとも連携しながら、美術に関わる社会活動にも携わっています。授業にも可能な限りその体験を盛り込み、美術業界のリアルタイムの動向についてお伝えするよう心掛けています。
日本美術史 A	洲脇 朝佳	2	教員は学芸員として現在勤務しており、展覧会企画などの博物館事業のほか、文化財の指定や修復といった文化財保護事業の担当経験を持つ。授業ではそうした経験を活かし、現在の美術館・博物館業界の動向から展覧会のめぐり方のコツまで広く紹介する。
日本美術史 B	藤澤 紫	2	担当教員は美術館・博物館などの国公立の諸機関における展覧会、講演、文化財保護活動、および放送局・新聞社・出版社等の各種メディアとも連携しながら、美術に関わる社会活動にも携わっています。授業にも可能な限りその体験を盛り込み、美術業界のリアルタイムの動向についてお伝えするよう心掛けています。
東洋美術史 A	片岡 直樹	2	現在新潟産業大学教授。多摩美術大学、早稲田大学、國學院大學、東北芸術工科大学、富山大学等で非常勤講師を歴任。國學院大學で「東洋美術史」を講ずるのは20年目となります。
東洋美術史 B	片岡 直樹	2	現在新潟産業大学教授。多摩美術大学、早稲田大学、國學院大學、東北芸術工科大学、富山大学等で非常勤講師を歴任。國學院大學で「東洋美術史」を講ずるのは20年目となります。
西洋美術史 A	新倉 慎右	2	学芸員

授業科目	教員氏名	単位数	実務経験に関する記載
西洋美術史B	新倉 慎右	2	学芸員
美学・芸術学特殊講義IA	藤原 えりみ	2	専門分野：西洋美術史および現代美術史フリーランスのライターおよび編集者・翻訳者としての経験に基づいて、幅広い視点から美術作品やアーティストについて解説する授業を行う。
美学・芸術学特殊講義IB	藤原 えりみ	2	専門分野：西洋美術史および現代美術史フリーランスのライターおよび編集者・翻訳者としての経験に基づいて、幅広い観点から美術作品やアーティストについて解説する授業を行う。
美学・芸術学特殊講義IIA	藤澤 紫	2	担当教員は美術館・博物館などの国公立の諸機関における展覧会、講演、文化財保護活動、および放送局・新聞社・出版社等の各種メディアとも連携しながら、美術に関わる社会活動にも携わっています。授業にも可能な限りその体験を盛り込み、美術業界のリアルタイムの動向についてお伝えするよう心掛けています。
美学・芸術学特殊講義IIB	藤澤 紫	2	担当教員は美術館・博物館などの国公立の諸機関における展覧会、講演、文化財保護活動、および放送局・新聞社・出版社等の各種メディアとも連携しながら、美術に関わる社会活動にも携わっています。授業にも可能な限りその体験を盛り込み、美術業界のリアルタイムの動向についてお伝えするよう心掛けています。
文学部 哲学科 専門科目の合計単位数 24 単位			

授業科目	教員氏名	単位数	実務経験に関する記載
労働法 A	本久 洋一	2	北海道労働委員会公益委員、神奈川県労働委員会公益委員(現職)
行政法ⅠA	平 裕介	2	授業担当者は、弁護士（2008年登録、東京弁護士会）として多くの訴訟（主に行政関係訴訟）、行政不服審査等の担当経験を有しています。また、現在、国立市行政不服審査会委員、小平市建築審査会委員、杉並区法律相談担当員、江戸川区法律アドバイザー（行政法関連の法律相談を担当）等の自治体等公的な団体の公職や研修講師等を担当し、行政法の研究成果と法曹の実務経験等を踏まえた専門的知見を市民や事業者の方々や自治体の公務員等の方々に提供しています。
企業法務	友松 義信	2	信託銀行で企業コンプライアンスに長く携わるとともに、信託の研究を通じて学者・弁護士等と様々なファイナンス手法やコーポレート・ガバナンスに関する知見を得ることができました。それらを受講生の皆さんに共有して頂き、知見として今後の学習や社会生活に役立てて頂くことを期待しています。
経済法 A	鈴木 健太	2	講師は、独占禁止法を専門的に運用する国の行政機関である公正取引委員会（内閣府の外局）に勤務している国家公務員であることから、実務家としての経験・認識（独占禁止法に限らない）についても紹介していくこととしたいと思います。
消費者法	竹谷 啓子	2	2011年から現在に至るまで消費生活相談員として勤務（2017年からは独立行政法人国民生活センター相談情報部に勤務）し、消費者問題の最前線で消費者への助言やあっせん業務に携わっています。
日本外交史 A	冨塚 一彦	2	外務省外交史料館において長年、外交史料集『日本外交文書』の編集を担当してきた。特に戦前期の日中関係を主として担当してきたので、重要な関係史料を数多く紹介していきたい。
公共政策	西岡 隆	2	講師は、約30年、厚生労働省などの仕事をした上で、2025年1月から大分県臼杵市長として自治体運営の舵取りをしている。厚生労働省の数理職員として、長らく、年金数理の専門家として、公的年金財政や医療保険改革などに関わってきた他、厚生労働省から大分県臼杵市に出向し、過疎が進む地方として地域の持続可能性を高める取り組みに関わってきた。

授業科目	教員氏名	単位数	実務経験に関する記載
地方自治論 A	稲垣 浩	2	横須賀市都市政策研究所（横須賀市職員）として市政研究に従事。そのほか、自治体での審議会委員、研修講師等の経験あり。
メディア論	持田 周三	2	新聞社の政治記者、テレビ局の報道担当などを務め、主として政治分野の取材・報道やマスメディアの経営などに携わってきました。そうした実務経験を活かして、取材・報道現場の実情、メディアの内実も紹介しながら、ネット時代の報道・ジャーナリズムのいま、これからを考えていきます。授業を通じて、みなさんの社会への関心が強まり、メディアリテラシーが高くなることに役立てればと思います。
N P O 論	重田 康博	2	担当教員は、民間企業、政府の特殊法人、外務省の財団法人、イギリスの NGO、国際協力 NGO、大学などで働いてきた経験を基に、授業を実践的に行う予定である。
心理学 A	伊澤 冬子	2	臨床心理士ならびに公認心理師の資格を有し、教育機関および医療機関での心理職として心理面接・コンサルテーションを担当した経験のある教員が、心の仕組みと働きについて学修する授業を行う。
地域研究演習（イギリス・オーストラリアの法と社会）	ジョン・ミドルトン	2	オーストラリアおよびニューヨーク州において弁護士登録をしている。
（専）知的財産法	加藤 浩	2	・特許庁において 20 年間の特許審査・審判に関する実務経験がある。・弁理士として 15 年間の実務経験がある。・大学において 15 年間、特許の技術移転や産学連携の実務経験がある。
地域研究（フィンランドの政治）	柴山 由理子	2	フィンランド企業に 10 年勤務しうち 5 年をフィンランド本社で勤務した経験をもとに、フィンランド社会について解説する。
フィールドワーク（取材学）	岩田 一平	2	朝日新聞記者、週刊朝日副編集長、アサヒカメラ編集長、朝日新書編集長を歴任。マスコミ採用選考の作文を指導するペンの森株式会社代表取締役。2024 年 3 月刊の『週刊朝日 101 年史』（朝日新聞出版）を編集・執筆した。著書に『「欠点」を「強味」に変える就活力』（サンマーク出版）、『縄文人は飲んべえだった』（朝日新書）、『ハイテクで解く縄文の謎』（大日本図書）、『珍説奇説の邪馬台国』（講談社）、『遺跡を楽しもう』（岩波ジュニア新書）。
法学部 法律学科 専門科目の合計単位数 30 単位			

授業科目	教員氏名	単位数	実務経験に関する記載
アジア経済史	高橋 克秀	2	日本経済新聞記者として国際経済の取材経験豊富。
経済学特殊講義（証券アナリスト）	福田 徹	2	講師は、現役で上場企業の証券アナリストレポートを書いている。上場のアドバイス、上場企業のInvestor Relationsのコンサルティングも行っている。直近ではESG、統合報告書、気候変動対策のアドバイスもしている。
経済学特論（金融リテラシー）	木村 秀史	2	SMBC日興証券にて公益法人業務部長、金融市場部長、高松・長野・宇都宮にて支店長を歴任。金融市場の幅広い知識と経験、実際の資産形成のアドバイスの実務経験を有する。
経済学部 経済学科 専門科目の合計単位数 6 単位			

授業科目	教員氏名	単位数	実務経験に関する記載
ビジネスリサーチ	鈴木 智之	2	データ分析を用いた経営コンサルティング経験と起業経験を有する教員が担当する。
ベンチャービジネス	小野 正人	2	ベンチャーキャピタル、金融機関等に20年以上の実務経験のある教員が、業務の経験を活用しながら講義を運営します。ベンチャービジネスの経営の実例やケーススタディを用いて、受講者に現実を理解させるように努めます。
現代ビジネス	手塚 貞治	2	約30年のコンサルタント経験のある教員が、実務経験をもとに解説する
人的資源管理	鈴木 智之	2	経営コンサルティング経験と人的資源管理に関連した起業経験を有する教員が担当する。
マーケティング	白鳥 和生	2	元日本経済新聞記者
流通論	矢嶋 剛	2	流通システムの研究：社団法人流通問題研究協会在籍時に、流通機能連関（例 製配販連携、日本版ECR等）についての調査研究。共著に『医薬品流通論』（東京大学出版会、ISBN 4130401971）
組織行動	辻 和洋	2	・読売新聞大阪本社記者、産業能率大学総合研究所職員などを歴任・職場内のプロジェクトリーダーとして成果を残した経験がある・組織開発のチェンジエージェントとして学校教員の働き方改善を実践した経験がある
広告論	端 義幸	2	大手電機メーカーで30年以上、広告、コミュニケーション、マーケティングの実務に関わってきた。その後5年間化粧品会社でInstagram立上げ、PR等のコミュニケーション業務に携わってきた。そういった経験やネットワークを活かして、より実践的で社会にでて役に立つ授業にしていきたいと考えている。
公会計	金子 良太	2	担当教員は、公会計分野における実務経験を有しています。
企業監査	石黒 良一	2	担当教員は、監査法人に所属し、公認会計士として監査業務に従事しています。

授業科目	教員氏名	単位数	実務経験に関する記載
国際会計	関根 俊	2	米国・日本において、米国証券取引委員会（SEC）登録企業を含む米国および日本企業の会計監査に従事した後、2001年から主にグローバル企業に対してIFRSの知見も生かして広範囲なM&A関連サービスを提供しており、本講義では理論と実務の両面からIFRSを解説していく。シカゴ大学経営大学院修士課程修了（MBA）。米国公認会計士（カリフォルニア州）
企業法	原 省三	2	長年にわたり、国税職員として企業の法人税調査や課税争訟事務に従事してきました。講義においては、これまでの経験を踏まえ、企業活動に関わる課税問題についても言及したいと思います。
経済学部 経営学科 専門科目の合計単位数 24 単位			

授業科目	教員氏名	単位数	実務経験に関する記載
古典講読ⅠA	武田 秀章	2	神社新報社、神社本庁で実務経験。
宗教考古学Ⅰ	笹生 衛	2	県教育委員会事務局の文化財保護の専門職員として埋蔵文化財の発掘調査と、指定文化財の保護・活用に従事しました。また、公立博物館の学芸課員、青少年教育施設の専門職員としての勤務経験もあります。
祝詞作文Ⅰ	岸川 雅範	2	神職として日々祭祀に勤しみ、祝詞上達のための研鑽も怠らず神明奉仕している。
神社管理研究Ⅰ	岡市 仁志	2	現在、神社本庁総合研究部研究祭務課長として勤務
神社管理研究Ⅱ	藤本 頼生	2	神社本庁に平成9～23年まで14年間奉職、神社実務にかかる経歴有
神道と書道Ⅰ	高橋 智紀	2	高等学校教員として芸術科書道の授業を長年担当。楷書・行書をはじめとする各書体および篆刻・仮名などの書道分野を広く得意としている。賞状類・講演会演題等の筆耕経験が豊富であるほか、高等学校芸術科書道の教科書で硬筆ページを執筆している。
神道教化概論Ⅰ	新井 君美	2	神社本庁教学研究所、その後は渉外部渉外課長を経て、現在は秩父神社を本務とするほか兼務4社の宮司、埼玉県神社庁研修所講師などを兼務し後進の指導にあたっている。鎮守の森コミュニティ研究所特別研究員、社会保険労務士資格保有など。
神道と国際交流Ⅱ（2）	岩橋 克二	2	担当教員は現任神職で、神社本庁の国際交流実務担当の職員・責任者として、第一線で活動した経験を有する。学生は、教員の実務経験に即した課題意識に導かれながら、国際交流とは何か、日本文化や他国・他宗教の知識、英語で表現できること・できないこと、これまで神社神道が行ってきた国際交流、について学び、交流実践に必要な力を身につける。
仏教文化研究Ⅰ	大澤 広嗣	2	講師は、文部科学省（東京都千代田区霞が関）のなかにある文化庁で、宗務行政に従事する現役の国家公務員です。行政実務で得た最新の知見をもとに講義を進めます。

授業科目	教員氏名	単位数	実務経験に関する記載
仏教文化研究II	武井 謙悟	2	一般企業で勤務した後、仏教僧侶として寺院の運営（葬儀、祈祷、読経などを含む）を行っており、宗教の資格である上級宗教文化士を取得している教員が授業を行います。
神道教学特論	小平 美香	2	現任の神職として、神社での教化活動の経験を活かし、実践的な授業を行う。
神道文化学部 神道文化学科 専門科目の合計単位数 22 単位			

授業科目	代表教員	単位数	実務経験に関する記載
特別支援教育総論	高橋 幸子	2	小学校教諭、特別支援学校教諭として教育実践に取り組んだ実務の経験を生かした授業展開を行う。学校や福祉現場への理解を促し、具体的な配慮等について指導する。
初等科教育法（生活）	三田 大樹	2	東京都公立学校教諭、副校長、教育委員会での統括指導主事、主任指導主事の経験を活かして、実践的で実際の学校現場における指導のイメージがもてる講義に努めます。☒
初等科教育法（図工）	山成 美穂	2	公立小学校における臨時の図画工作科教員として指導経験（2年間） ・公立美術館における子どもアートプログラムの企画・ワークショップ講師（4年間） ・子どもアトリエ（絵画・造形）主宰・指導経験（20年間） ・重度知的障害者デイケアセンターにおける創作活動始動（3年間） ・ドイツの青少年芸術学校におけるインターン（4年間） ・4年制大学と短期大学の保育者養成・教員養成課程における指導法および実技の指導（11年間）
初等科教育法（理科）	寺本 貴啓	2	静岡県小学校、中学校教諭の経験を活かして、実践的な理科教育を教えた。
臨床教育学	小島 道生	2	教育現場への巡回相談などを長年経験している。
幼児理解の理論と方法	松山 洋平	2	幼稚園教諭として9年実務経験のある教員が実践での事例を踏まえながら講義を行う。
企業内教育	水村 みのり	2	・民間企業での研修トレーナー。主な研修内容はコミュニケーションに関わるもの（ビジネスマナー、接客対応、電話対応、メール作成、営業、販売等）・キャリアコンサルタント、産業カウンセラー就職相談、仕事上の相談、メンタル不全の相談を受けている。
特別活動の理論と方法（小）	杉田 洋	2	さいたま市立小学校教諭、国立教育政策研究所、文部科学省での勤務の経験を活かして、実践的で、公的根拠に裏付けられた特別活動の授業を実施。
初等科教育法（国語）	成田 信子	2	小学校学級担任小学校教諭として、授業全般を担当し、主にことば、国語科についての実践研究を行った。
体育概説	大矢 隆二	2	企業勤務を経た後、高校教員として教育現場に従事。本学における教員養成の実務経験を活かし、体育概説の講義にあたる。専門は教育学の一分野の「体育科教育学」である。

授業科目	代表教員	単位数	実務経験に関する記載
教育課程論（小）	萩野 奈幹	2	私学中・高等学校（音楽科）、公??学校(担任)・中学校教諭（その間、教職大学院２年間派遣）を経て、兵庫県立総合教育センターにおいて主任指導主事として、若手、中堅、管理職研修、教員採用を担当し、令和７年度より本学部にて教員養成に携わっている。専?は、道德教育学、教育哲学、教育方法、教育評価である。
人間開発学部 初等教育学科 専門科目の合計単位数			22 単位

授業科目	教員氏名	単位数	実務経験に関する記載
球技ゴール型Ⅰ	イ ウヨン	1	プレーヤー（学生）としての自主性を求める内容が多いことから、自分が将来、教える側になることを想定しながら授業に取り組む。
スポーツ心理学	伊藤 英之	2	スポーツメンタルトレーニング指導士の資格を所有し、アスリートおよびスポーツチームや団体を相手に心理的指導やサポートをしている教員が、スポーツ心理学の基礎的な理論や指導現場での応用について講義する。
アダプテッドスポーツ	岩沼 聡一郎	2	スペシャルオリンピックス日本 アルペンスキー 認定コーチ 22年 公益財団法人スペシャルオリンピックス日本 理事 8年 日本パラスポーツ協会 パラスポーツ指導員（初級）認定科目担当 8年
武道（剣道）	吉田 泰将	1	【教員経歴】公益財団法人 全日本剣道連盟 剣道教士八段九州高等学校剣道大会 団体準優勝（大将）国民体育大会 団体4位全国教職員剣道大会出場 学連剣友剣道大会 団体準優勝2回皇宮警察創立110年記念武道大会剣道競技（天覧試合）出場 寛仁親王杯剣道八段選抜大会 平成22年度から10年連続出場（優秀試合者賞1回）
スポーツ行政論	高松 政裕	2	2007年弁護士登録、2014年 公益財団法人日本スポーツ仲裁機構理解増進事業専門員、慶應義塾大学大学院法務研究科講師「スポーツと法」【法科大学院、JD】（2014年～）、「Sports Law and Dispute Resolution」【LLM】（2018～）
器械運動	笹田 夏実	1	体操競技を16年間選手として活動し、全日本選手権出場、世界大会出場の経験があります。また、体操競技のコーチとして世界大会に選手の帯同として参加したことがあります。
教職論	杉田 洋	2	さいたま市立小学校教諭、国立教育政策研究所、文部科学省での勤務の経験を活かして、実践的で、公的根拠に裏付けられた教職論の授業を実施。
発育発達論	川田 裕樹	2	健康運動指導士、JATI認定トレーニング指導者資格（JATI-ATI）を有している。
体づくり運動	大矢 隆二	1	企業勤務を経た後、高校教員として教育現場に従事。本学における教員養成の実務経験を活かし、運動指導にあたる。専門は教育学の一分野の「体育科教育学」である。

授業科目	教員氏名	単位数	実務経験に関する記載
バイオメカニクス	中島 大貴	2	国立スポーツ科学センターに在籍し、アスリートをバイオメカニクスの観点からサポートしている教員が、力学の基礎概念を理解でき、バイオメカニクスの分析、評価法の基礎が理解できることを目標とした授業を行なっている。
武道（柔道）	田村 昌大	1	講道館柔道五段全日本柔道連盟強化委員、コーチ（男女ジュニア、女子シニア）
スポーツアナリティクス	渡辺 啓太	2	バレーボール日本代表チームのアナリストとしてオリンピックでのメダル獲得をサポートした経験がある教員が実務経験を踏まえ、スポーツアナリティクスの実務上の課題や現状を解説し、効果的に活用するためのポイントについて講じる。
体育・スポーツ史	藤田大誠	2	神社関係の諸委員や講師、学外研究機関共同研究員などを務める中で、各種講習会や講演会、研究会の講師・発題者となり、通信教育などにも携はってきた経験を踏まえ、神道文化や日本の伝統文化、教育文化、スポーツ文化などに関する授業に取り組んである。
救急法	富田 一誠	2	整形外科医、救急医、スポーツ医として豊富な知識と経験を元に講義を行う。
人間開発学部 健康体育学科			専門科目の合計単位数 23 単位

授業科目	教員氏名	単位数	実務経験に関する記載
幼児と言葉	吉永 安里	2	幼稚園、小学校における教員経験を生かし、児童文化についての知識のみならず、保育場面での活用についての演習も取り入れながら講義を展開する。
子ども支援論	塩谷 香	2	保育者としての長年の経験から、子どもの育ちや子育て支援について時代の変化を感じるとともに問題の深刻さが増す今日の状況を危惧している。子どもを守る大人として専門家として一緒に考えあうことができる授業を目指したい。
教育の方法と技術（幼）	吉永 安里	2	幼稚園、小学校での現場経験を生かして、講義、演習形式で授業を展開します。
コミュニティ支援論	山瀬 範子	2	児童福祉施設での勤務経験、幼稚園・小学校での勤務経験等がある教員が指導に関わる。
うたとオペレッタ	中野 圭祐	2	幼稚園で保育経験のある教員が指導を行う
絵本とことば	吉永 安里	2	幼稚園、小学校における教員経験を生かし、演習やフィールドワークも取り入れながら授業を展開する。
子どもと自然体験活動	青木 康太郎	2	青少年教育施設で10年の勤務経験がある専任教員が、その実務経験を生かし、野外活動やレクリエーション等に関する実践的な指導を行う。
人間開発学部 子ども支援学科 専門科目の合計単位数 14 単位			

授業科目	代表教員	単位数	実務経験に関する記載
プログラミングと数学基礎	仲野 潤一	2	職業プログラマーとして10年以上のプログラミング経験を持ち、加えて数学や計算機科学などの学問的知識を用いてゲーム・サイネージ・教育ソフトウェア・インタラクティブコンテンツ等の開発をデータ駆動形で行ってきた経験から、プログラミング・数学について学修する講義を行う。
データサイエンス	仲野 潤一	2	職業プログラマーとして10年以上のプログラミング経験を持ち、加えて数学や計算機科学などの学問的知識を用いてゲーム・サイネージ・教育ソフトウェア・インタラクティブコンテンツ等の開発をデータ駆動形で行ってきた経験から、データサイエンスについての講義を行う。
民俗学概論	小林 稔	2	博物館学芸員や文化財調査官の勤務経験のある教員が、その実践的知識と経験を活かしつつ、観光まちづくりの理解に向けた一助を講じる。
都市と地域の交通	大門 創	2	技術士（建設部門）資格保有者として、国や地方公共団体の都市政策や交通政策の策定に従事した経験を踏まえ、交通の基礎・政策・事例を概説する。
観光マーケティング	井門 隆夫	2	観光専門シンクタンクにおける各地の地域振興や事業再生を目的としたマーケティング計画策定支援業務の経験を活かした授業を行う。
観光事業論	小林 裕和	2	教員は旅行業、鉄道業、海外勤務など観光事業における実務経験を有する。観光DX、宿泊DXなど国の事業に関連する委員なども行っている。
地域文化創造論	小林 稔	2	博物館学芸員や文化財調査官の勤務経験のある教員が、その実践的知識と経験を?かしつつ、観光まちづくりの理解に向けた一助を講じる。
交通計画	大門 創	2	技術士（建設部門）資格保有者として、国や地方公共団体の都市政策や交通政策の策定に従事した経験を踏まえ、交通の基礎・政策・事例を概説する。
リノベーション論	椎原 晶子	2	横浜市、東京都、台東区等における歴史を活かしたまちづくり、古民家再生のための調査、計画、設計、企画運営等に携わっている。

授業科目	代表教員	単位数	実務経験に関する記載
アートと地域振興	椎原 晶子	2	台東区谷中界限や東京東部にて、古民家の再生やまちづくりと連動する形でのアート企画の運営に参画。旧平櫛田中邸での文化芸術活動サポート、谷中界限で1993年より行われる「藝工展」、2020年より開始の「東京ビエンナーレ」等。
地域の観光情報メディア	楓 千里	2	(株)日本交通公社および(株)JTBパブリッシングに勤務し、観光情報の発信に長年携わる。月刊『るるぶ』副編集長、月刊『旅』編集長を務めた。ソリューションビジネスの担当役員として、自治体や観光協会などの情報発信の推進も経験している。
旅行産業論	小林 裕和	2	教員は旅行業に従事した実務経験がある。カウンター販売、法人営業、添乗、経営企画、事業開発、訪日インバウンド旅行、香港・オランダにおける海外勤務など。
宿泊産業論	井門 隆夫	2	観光専門シンクタンクにおける各地の地域振興や事業再生を目的としたマーケティング計画策定支援業務の経験を活かした授業を行う。
田園回帰論	嵩 和雄	2	熊本県阿蘇郡において9年間都市農村交流事業、人材育成事業、旅行商品づくりの企画・運営に従事後、国内最大の地方移住支援を行うNPOにおいて11年間移住相談をはじめ、移住に関わる政策立案、起業支援、人材育成、研修事業等を行ってきた知見とネットワークを活かし、実践的な授業を行う。
運輸・観光実践論	後藤 靖子	2	国家公務員(国土交通省)として観光政策や交通政策の立案、実践に携わる。その間、政府観光局(JNTO) ニューヨーク事務所長としてインバウンド誘致を最前線で取り組み、山形県副知事として自治体行政を実践。その後JR九州常務取締役として鉄道・観光ビジネスを実践。九州観光推進機構エグゼクティブアドバイザーや地域アドバイザーなども経験。現在は、資生堂、デンソー、三井化学の社外役員として、企業統治の一翼を担っている。
観光まちづくり学部 観光まちづくり学科			専門科目の合計単位数 30 単位